

北海道大学 「北海道から世界へ、そして未来へ」 ー北大が発信・展開する女性研究者支援・育成ー

◇ 北海道大学における女性研究者支援の進捗状況

平成 18 年に開設された女性研究者支援室 (*FResHU*) は、平成 21 年 4 月から人材育成本部の主要ユニットとして研究・教育における研究人材育成を目指し支援活動を継続・展開しています。平成 18-20 年度科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成事業に引続き、平成 21-25 年度文部科学省科学技術人材育成費補助金・女性研究者養成システム改革加速事業、平成 25 年度科学技術人材育成費補助事業・女性研究者研究活動支援事業（拠点型）に採択されました。これらの事業と本学独自に推進してきたポジティブアクション北大方式、平成 23 年度からはテニュアトラック普及定着事業（部局・女性型）とを併せて女性教員の新規採用促進、持続的活躍と地域への効果波及に取り組んでいます。また、女子中高生の理系進路選択支援事業を平成 18 年度より継続して行っており、将来の女性科学者を育成しています。さらに、平成 25 年度に採択された文部科学省「研究大学強化促進事業」においても女性研究者支援は重要項目として位置付けられており、全学を挙げて推進しています。

◆ 全北海道女性研究者支援「拠点」としての展開

平成 25 年度科学技術人材育成費補助事業・女性研究者研究活動支援事業（拠点型）に採択され、北海道内の研究機関を拠点に活動する全女性研究者 (HoWS; Hokkaido Women in Science) が、これまで本学で実施・蓄積してきた女性研究者活躍促進のための様々な施策 (hows) を共有し、機関を越えて支援環境・支援策をフル活用して能力をフルに発揮することを目的とした「全北海道女性科学者研究活動推進協議会“Full-HoWS”」を設立しました。全北海道女性研究者のための支援拠点として、女性研究者のスキルアップのためのワークショップ・セミナー開催や女性研究者支援の意識醸成のためのシンポジウム等を行うことで、本学だけでなく北海道全体の女性研究者の能力発揮・持続的活躍を図っています。

◆ 研究大学強化促進事業

平成 25 年度に採択された文部科学省「研究大学強化促進事業」の中で、本学では「Women in Global Science」というテーマで、女性研究者が海外で国際学会等に参加する旅程中に共同研究したい研究者や施設に立ち寄る旅費の補助が副賞となっている表彰 (Global Networking Awards) や、大テーマを設定した国際シンポジウムを開催することで様々な分野の女性研究者を招聘し、学内の女性研究者と研究交流することで新たな国際的共同研究が生まれるきっかけ作りをするなどの取り組みを行うなど、優秀な女性研究者がグローバルにより一層活躍できるように支援を行っています

◆ 北海道大学の女性研究者数の現状とポジティブアクション北大方式

本学の正規教員女性比率は、7.0%（平成 17 年度）から 11.4%（平成 26 年 1 月 1 日）へと増加しています。また、博士研究員等も含む全研究者数の女性比率は 13.0%（平成 26 年 1 月 1 日）となっており、着実に女性研究者の増員が加速されています。北海道大学は機関数値目標 “20% by 2020” (Triple Twenties 計画：2020 年度までに北大全研究者の女性比率を 20%にする) の実現に向けて、平成 18 年 4 月から開始したポジティブアクション北大方式（教員人件費総額管理の人事ポイント制度を利用して女性教員採用部局に人事ポイントの二分の一を追加付与することで女性採用にインセンティブを与える）を継続実施しています。

【連絡先】 北海道大学 人材育成本部 女性研究者支援室

Phone : 011-706-3625 Fax : 011-706-3692 E-mail : freshu@synfoster.hokudai.ac.jp

URL : <http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/> / <http://fullhows.synfoster.hokudai.ac.jp/>

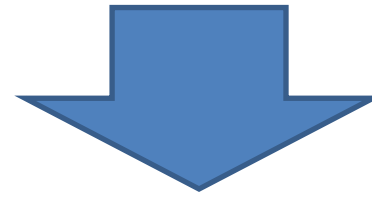
北海道から世界へ、そして未来へ — 北大が発信・展開する女性研究者支援・育成 —

“20% by 2020” = *Triple Twenties* 計画 (北大全研究者の女性比率を 2020 年までに 20%に！)

北大での女性研究者育成・支援の展開

H18 - 20 女性研究者支援モデル育成プログラム
「輝け、女性研究者！活かす・育てる・支えるプラン in 北大」

H 21 - 25 女性研究者養成システム改革加速プログラム
「輝け、女性研究者！根を張れ、花咲け、実を結べ@北大」



H 25 - 27 女性研究者研究活動支援事業(拠点型)

これまで北大が培ってきた女性研究者支援策を
広く北海道内の他機関へ波及

女性研究者研究活動支援事業(拠点型)

All北海道 女性研究者活躍促進プロジェクト

全北海道女性科学者研究活動推進協議会『Full-HoWS』

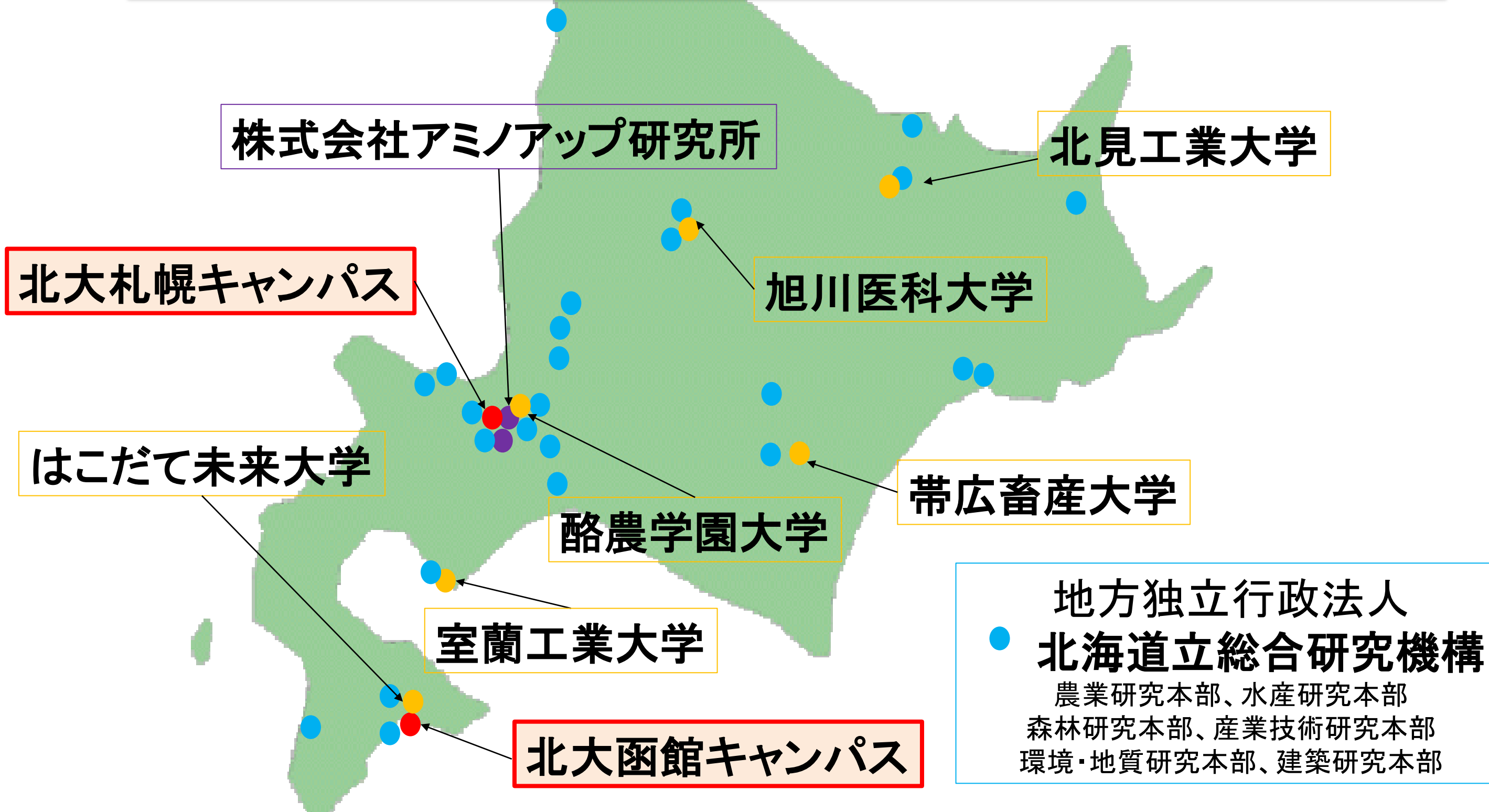
Full Participation of Hokkaido Women in Science

北海道を拠点に研究活動を行う全ての女性研究者が参加・参画し、
自身の研究活動支援を企画・推進する協議会

様々なノウハウを共有し、支援環境・支援策を活用可能に！

参画する機関は北海道の広域に分布

共同研究等により関係を築いた大学・企業と広く連携



支援活動の経験と基盤を横展開

女性研究者支援モデル育成事業の経験と実績を広げる

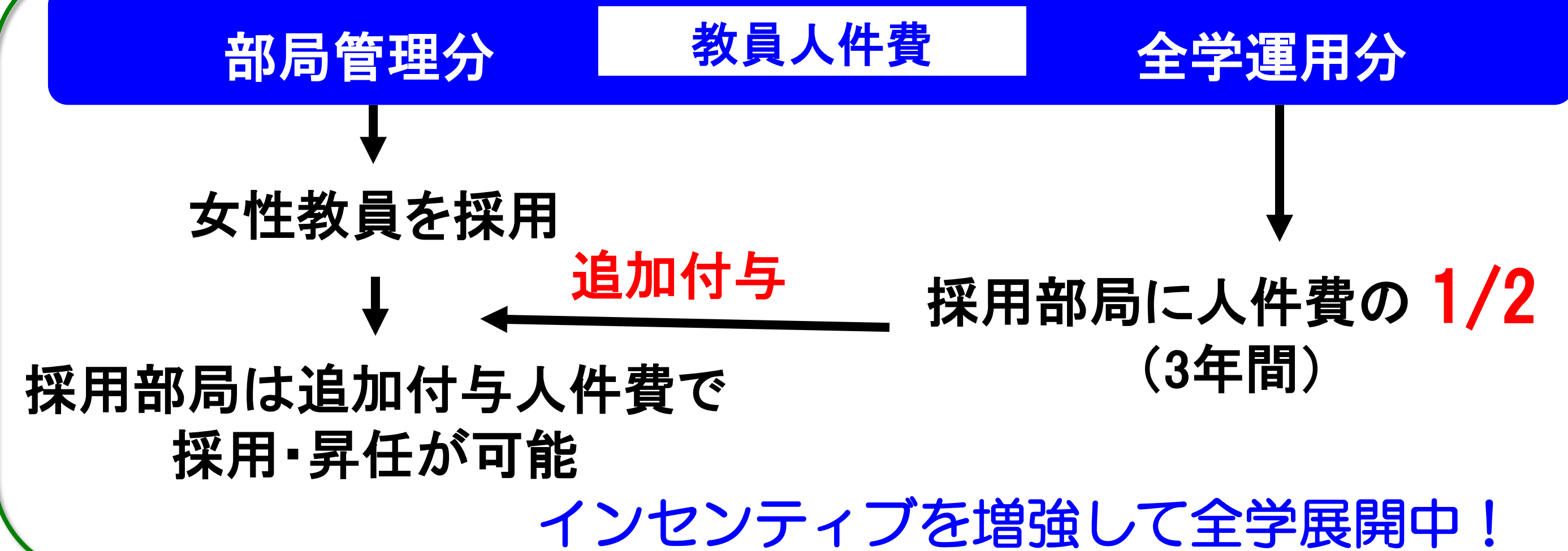
- ◆組織の意識改革 ⇒ 事業推進シンポジウムの開催
- ◆広域メンター制度 ⇒ オンラインシステムによるメンタリング
- ◆研究力強化ワークショップ、セミナー等の開催
- ◆保育施設・病児保育制度等の共有・効率的活用
- ◆連携機関の女性研究者が参加するSNSシステムの運用

北海道の状況に合わせたニーズ対応型の連携基盤

協議会の中から生まれた新しい支援のアイデアを
北海道大学に還元・改良・普及する正のサイクルへ

ポジティブアクション北大方式

全部局・全人事を対象に平成 18 年度より継続実施中



平成18～26年(1月) の女性教員新規採用実績： 総計166名
理・工・農分野: 51名 その他の理系分野: 30 名
教授 1 名、准教授 8 名、講師 3 名、助教 39名 教授 2 名、助教 28 名

女性研究者の相次ぐ採用、昇任等 ➡ 女性教員採用に積極的
(抵抗・懸念、確実に減少)

より効果的なポジティブアクションのインセンティブも検討中

研究大学強化促進事業

平成25年に採択された文部科学省「研究大学強化促進事業」においても、
“人材の多様化(ダイバーシティ)の推進”として、**女性研究者支援制度の拡充**が
重要項目として位置付けられています。

◆Global Networking Awards

優秀な学内女性研究者への表彰 + 海外で行われる学会やシンポジウム
と”Plus One Visit”の旅費補助

◆International symposium for Women Scientists

大きなメインテーマを設定(26年度は”Water”)

幅広い分野の意欲のある女性研究者を世界から招聘

国内外のトップ級の研究者による基調講演・助言

女性研究者のネットワーク形成と将来的の
国際的研究コラボレーションのきっかけ

理系進路選択支援事業

◆理系応援キャラバン隊

大学院生やを中心とした出張実験チームが
あちこちに出張して小学生や女子中高生対
象の科学実験イベントを行う。

子どもだけでなく保護者に対するアプローチも
合わせて行うことで次世代女性研究者増につなげる

女性研究者にとってはアウトリーチの機会

